

2026年度 名古屋大学 前期 日本史

問題Ⅰ (350字)

「光榮ある孤立」政策をとるイギリスは、ドイツのバルカン半島・中東への進出を警戒するとともに、アフリカなどでフランスと、中央アジアや東アジアで南下策を進めるロシアとも対抗関係にあった。ところが、中国での義和団戦争に乗じてロシアが中国東北部を軍事占領すると、イギリスは日本の軍事力を評価し、従来の政策を転換して日英同盟を結んだ。したがって、第一に、日英同盟を背景とする日露戦争はイギリスから見て英露対立の代理戦争という側面をもっていた。さらに、イギリスは日露戦争を機に英仏協商、英露協商を相次いで結んでフランス・ロシアとの対立を解消させ、英仏露の三国協商と日英同盟による外交網を作りあげた。その意味で、第二に、イギリスにとって日露戦争はドイツを中心とする三国同盟に対抗する態勢を完成させる転換点であった。(350字)

問題Ⅱ

問1 (2行)

白鳳期は唐との国交が中断する一方、新羅と通交し、亡命百済人が渡来した。そのため、朝鮮半島の文化やインドの影響を受けた初唐文化の技法を取り入れた絵画が描かれた。(79字)

問2 (1行)

密教や浄土教が広まり、貴族を中心に受け入れられた。(25字)

問3 (2行)

物語や歴史上の出来事、寺社の縁起、同時代の地方社会や庶民の生活などを題材とし、大和絵の手法を用いて描かれた。(54字)

問4 (1行)

雪舟は遣明船で明に渡って作画技術を学び、禅画の制約を超えた水墨画を描いた。(37字)

問5 (1行)

天下統一を進めた織田信長・豊臣秀吉やその家臣である大名らが重用した。(34字)

問6 (1行)

庶民に需要のある風俗や風景などを題材とし、木版画で大量生産されて安価であった。(39字)

問題Ⅲ

問1 (2行)

国司は官位相当制に基づき中央の貴族・官人が任命されたのに対して、郡司は人格や執政能力を備えた旧国造などの伝統的な地方豪族が任じられた。(67字)

2026年度 名古屋大学 前期 日本史

問2 (1行)

郡司から郷・里の責任者に対して神殿を造るための物資と人員の調達を命じた。(36字)

問3 (2行)

長岡京造営を主導していた藤原種継が暗殺されると、首謀者とされた大伴氏・佐伯氏らは処罰され、事件への関与を疑われた早良親王も皇太子の地位を追われた。(73字)

問4 (3行)

後三条天皇は藤原氏を外戚としなかったため、摂政・関白ではなく天皇が自ら政治を主導した。延久の荘園整理令を出して記録荘園券契所の審査基準に合わない荘園は摂関家領も例外なく停止し、かなりの効果を上げた。(99字)

問題IV

問1 (2行)

南方・宮方は、吉野に拠点を置く南朝を指す。『太平記』は、鎌倉幕府の滅亡から南北朝の内乱にかけての戦乱を題材とした軍記物語である。(64字)

問2 (2行)

足利義詮は南朝の勢力を削ぎ、西国の戦乱をおさめるため、かつて敵であったにもかかわらず、従来の支配地域に加え、新たに三カ国の守護職を与える対応をとった。(75字)

問3 (2行)

観応の擾乱など室町幕府の内紛から南北朝の内乱が長期化するなか、各地の武士の軍事動員を強化するため、幕府は半済令などを出して守護の権限を拡大させた。(73字)

問4 (2行)

明徳の乱。山名氏の処遇をめぐり、敵方につくことが所領を増やす手段として有効だという考えが諸大名に広まるなか、義満はその考えが無効であることを示したかった。(77字)

問題V

問1 (2行)

国境について、択捉島以南を日本領、得撫島以北をロシア領とし、樺太は従来通り境界を定めず両国雑居の地とした。(53字)

2026 年度 名古屋大学 前期 日本史

問2 (2行)

村山富市首相は、アジア諸国民へ植民地支配や侵略についての反省や謝罪を表明し、日本は国際協調を促進し平和理念を広めていくとした。(63字)

問3 (2行)

藤田東湖たちが主導した後期水戸学は、幕末期における尊王攘夷運動の思想基盤を提供し、日米修好通商条約の勅許問題をめぐる幕府の対応への批判に影響を与えた。(75字)

問4 (2行)

被災地が軍需生産の中心地であり、復旧作業が思うように進んでいないことが報道されると、国民の戦意喪失につながりかねないと懸念されたから。(67字)

問5 (2行)

第一次世界大戦後におこった三・一独立運動など日本の植民地支配に対する抵抗運動への恐怖心や、朝鮮人に対する民族的な差別意識があったと考えられる。(71字)

問6

A 4

B 12

C 5

D 9

E 1

F 8